

看護学部
KAJITANI Yoshiko
PROFILE
<b>職名</b> 看護学部 看護学科准教授
<b>学歴</b> 兵庫県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程看護教育学領域修了(2004)
<b>学位</b> 修士（看護学）(兵庫県立看護大学、2004)
<b>所属学会</b> 日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護技術研究学会、日本質的心理学会、日本看護診断学会、日本看護研究学会
<b>専門分野</b> 看護教育学、看護技術学

## 梶谷 佳子

かじたに よしこ

**研究課題1 ● 看護師の成長とアイデンティティに関する研究**

**研究課題2 ● 看護技術教育の教育評価に関する研究**

**研究課題3 ● 看護師の看護実践力に関する研究**

### 業 績

#### 【論文】

「看護学生の看護イメージに関する研究」/『神戸市立看護短期大学紀要』第11号、1992年3月、共著。

「腹会陰式直腸切断術を受けた患者の会陰創の疼痛と疼痛軽減のための用具の工夫」/『神戸市立看護短期大学紀要』第12号、1993年3月、共著。

「医療廃棄物に対する看護職の役割（第1報）—神戸市中央市民病院における医療廃棄物の発生量の実態」/『病院』54(7)、医学書院、1995年7月、共著。

「臨床実習における患者—学生関係と学生の自尊感情の関連」/『神戸市立看護短期大学紀要』第15号、1996年3月、共著。

「脳卒中患者の障害受容プロセスと関連要因」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第16号、1997年3月、単著。

「仮設住民の健康と生活に関する実態調査—阪神・淡路大震災1年後と2年後の比較—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第17号、1998年3月、共著。

「阪神・淡路大震災による被災者の中期的ケア—継続的なケアを通してみた仮設住宅における高齢者のセルフケアの変化とその要因—」/『看護研究』31(4)、医学書院、1998年8月、共著。

「阪神・淡路大震災後、仮設住宅で生活する住民のストレス度と行動様式の変化—10ヶ月後と2年後の比較—」/『看護展望』vol.24No.1、メヂカルフレンド社、1999年1月、共著。

「阪神・淡路大震災後に仮設住宅で生活する人々への健康チェック・健康相談がセルフケアに及ぼした影響—震災2年6ヶ月後の現状から—」/『看護展望』vol.24No.3、メヂカルフレンド社、1999年2月、共著。

「阪神・淡路大震災から3年後の仮設住宅住民の健康と生活の実態」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第18号、1999年3月、共著。

「短期大学看護学生の看護婦職業イメージと患者イメージの発達プロセス」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第18号、1999年3月、共著。

「基礎看護学における第2看護学科教育の評価—5年間の『看護学概論』『基礎看護技術』の試験結果から—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第19号、2000年3月、共著。

「学内演習における生活援助技術の習得度—第1看護学科1回生の実技試験の結果より—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第19号、2000年3月、共著。

「学内演習における生活援助技術の習得度(2)—実技試験『下シーツ交換』の結果より—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第20号、2001年3月、共著。

「学内演習における生活援助技術の習得度(3)—実技試験『足浴』の結果より—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第20号、2001年3月、共著。

「学内演習における生活援助技術の習得度(4)—実技試験『排泄』の結果より—」/『神戸市看護大学短期大学部紀要』第21号、2002年3月、共著。

「看護教育研究セミナーの経験を通して出現したケアの様態—終了後の受講者へのインタビューの分析から—」/『Quality Nursing』Vol.10No.2、文光堂、2004年2月、共著。

「臨床看護師の看護学実習環境に関する意識調査」/京都橘大学紀要、No.35、2009年、共著。

#### 【学会発表】

「学生の自尊感情と臨床実習における患者—学生関係の関連—自尊感情低群に焦点をあてて—」/第26回日本看護学会集録—看護教育、1995年8月、共著。

「中堅看護師の臨床実践力を高めるために—自己教育力の低い看護師の様相—」/第34回日本看護学会集録—看護管理、2003年11月、共著。

「臨床経験4・5年目看護師の自己成長を動機付ける先輩看護師の関り」/第34回日本看護学会集録—看護管理、2003年11月、共著。

「『まちの保健室』におけるボランティア看護師の経験の構造化」/第35回日本看護学会集録—地域看護、2004年10月、共著。

「中堅看護師の自己像への影響要因」/第35回日本看護学会集録—看護管理、2004年10月、単著。

「臨床看護師の実習指導力量とその要因」/第17回日本看護学教育学会講演集、2007年8月、共著。

「大学と連携した実習施設の看護職が大学教育へ期待する学生指導について」/第17回日本看護学教育学会講演集、2007年8月、共著。

「臨床看護師がもつ看護学生に対するコミュニケーションの指導に関する意識」/第17回日本看護学教育学会講演集、2007年8月、共著。

「臨床看護師が新卒者の指導で抱えている問題」/第38回日本看護学会講演集、2007年8月、共著。

「対象者の理解と自己洞察をはかる「コミュニケーション実践」における学生の内的状態への影響」/第27回日本看護科学学会講演集、2007年12月、共著。

「学生が体験した臨床実習指導の現状」/第18回日本看護学教育学会講演集、2008年8月。

「学士課程における総合看護学実習後の看護技術経験状況と到達度」/第23回近畿・北陸地方会学術集会、2009年3月、共同。

「今、看護基礎教育におけるカリキュラムを再考する」/第29回日本看護科学学会学術集会、2009年11月、共同。

「看護学力を育む効果的な演習方法」/第30回日本看護科学学会学術集会、2010年11月、共同。

#### 【その他】

「入院治療を余儀なくされ自己概念の揺らぎがみられた足関節骨折の壮年期患者の事例」/『整形外科看護』10巻12号、メディカ出版、2005年10月、共著。

「経験学習モデルに基づくコミュニケーション実習」/『看護展望』、メヂカルフレンド社、2008年5月、共著。

#### 【産学連帯事業】

「島津SDと看護診断トレーニングソフト開発のための事業」、2006年～

#### 【国際学会発表】

「Education needs of nurses and the role of universities in Japan」/ICN conferense、2007年5月、共同。